

コールドレン鋼 - 生きている鉄パティナ

一般的な鉄と異なり、コールドレン鋼は空気にさらされることで丈夫な錆の層を形成します。

一般的な鉄は、腐食によって徐々に分解されていきますが、コールドレン鋼は製品を腐食から守る錆の層のコーティングを作っていきます。その層は継続して作られ、特徴的な生きたパティナ(錆の層)を形成していきます。この耐候性の鉄は、極めてエコロジカルな素材です。耐久性に富み、ラッカーなどのコーティングを必要としません。また、完全にリサイクルできる素材です。コールドレン鋼は、モダン建築の外装の意匠として、より多く使われています。

お届けの際の状態：光沢がありスムーズな肌

コールドレン鋼の表面には、非常に緻密で硬い黒い鉄の酸化物が形成され、ゆっくりとパティナのコーティングを作っていきます。はじめの数ヶ月で、スムーズな肌は少しずつ腐食が進み、表面から光沢がなくなっていきます。

パティナの形成

コールドレン鋼のシートが作られる段階では、パティナは表面に見られません。パティナは天候の自然な環境下でのみ形成されていきます。2-3週間で、目に見えるはじめの層が表面に作られ始めますが、完全にできあがるまでには1年半から3年ほどかかります。ファイヤーピットを使用するときの熱と炎は、このコールドレン鋼の形成に大いに役立ちます。

パティナ形成の加速

私たちは、パティナの形成を加速する特別な技術を開発しました。この技術によって、パティナは24時間以内に形成し始めます。

天然石や繊細な素材の上でコールドレン鋼を使用するときの注意

コールドレン鋼のファイヤーピットは、錆のコーティングとパティナで覆われていきますが、水の影響などで錆が下に落ちることがあります。酸に触れないようにしてください。

この生きている素材を、ぜひお楽しみください！

Your höfats team